

平成 27 年(2015 年)2 月 23 日

保護者のみなさま

豊能町立東ときわ台小学校
校長 濱野 裕 民

学校評価報告書

—アンケート集計の結果と今後の取り組みについて—

春寒の候、保護者のみなさまには益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、本校教育活動にご理解ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、本校では、学校教育活動の改善等のため、昨年 12 月に「児童の充実した学校生活」についてのアンケートを実施しました。児童は 100%、保護者は 95%の回答となりました。その後、データを集計し、分析作業を行ってきました。そして、明らかになった課題に対し、校内で協議を重ね改善の方向性をまとめました。その間、2 月 6 日の学校協議会では各委員の方々より意見をいただきました。

集計結果をみると、ほとんどの項目において昨年度よりプラス評価となっています。このことは、本年度の本校の教育活動に対し、ご理解を得られた部分が増加したと考えることができ、本校として元気の出る結果となりました。一方、さらなる成長のために、質問 11 の結果に着目し、全児童が気持ちの良いあいさつができるようになる取り組みが重要と考えています。2 月の学校だよりでも触れましたが、学校でも家庭でも地域でも気持ちの良いあいさつを交わし合える環境をめざすことで、子どもたちの育みがより高まることを願っています。また、各質問で、マイナス評価があることを真摯に受け止め、改善を進めていきたいと考えています。

以下に特徴的な項目について、結果の分析による自己評価、改善の方向性、及び学校協議会委員よりいただいた意見を関係者評価としてまとめ、お知らせいたします。また、集計結果の比較グラフと自由記述の集約を添付していますのでご覧ください。

今後も本校は、

- すべての子どもたちが、いきいきと活動できる **こと**
- どの子にも楽しく「わかる」「できる」確かな学びを保証する授業づくり（ユニバーサルデザインに基づいた指導・支援の工夫）

を大切に、知育・徳育・体育のバランスのとれた教育活動を力強く進めていきます。そのため、保護者・地域の方々や関係機関との連携が大切になります。ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

互いに認め合い、人権を大切にする集団作り	
分析による自己評価	<ul style="list-style-type: none"> • 日々の集団づくりの実践や人権教育の取り組み・ユニバーサルデザインに基づいた授業づくりを進め、多くの肯定的評価を受けた。 • 「学校が楽しい」と感じている児童の割合が、昨年度より増えていることが喜ばしい。ただ、そう思えない児童も若干あるので、その理由や背景をつかんでいく必要がある。 • 挨拶に関して評価結果は低くないが、自分から率先して気持ちのよい挨拶のできる子どもは少ないと感じる。 • 体罰やいじめについては、毎学期のアンケートと保護者アンケートで把握に努めている。現状では具体的な事案は出ていない。
改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> • よい挨拶は、よい人間関係を育むことの基本であるので、家庭や地域と連携し、すべての生活や日常の取り組みで、挨拶の意識向上に努める。 • 普段の会話・作文・行動観察など様々な方法で子ども理解につとめ、児童の状況を教職員が共有し、学校全体でアプローチをしていく。 • 聞いてもらえる、理解してもらえる、力になってもらえるという安心感が持てるような関係を築き、子どもが自分の行動を振り返る機会も意識して設ける。
関係者評価	<ul style="list-style-type: none"> • 地域全体で、挨拶をきっかけにして、お互いを知り合うことが進むとよい。 • 人間関係やいじめについて考える授業を、今後も取り組んでいくとよい。
確かな学力のために、基礎基本の確実な定着を図る	
分析による自己評価	<ul style="list-style-type: none"> • 研究授業や研修による教員のスキルアップに取り組んでいる。その成果の一端として、「授業が楽しくてよくわかる」の高評価に現れていることが喜ばしい。 • 学習規律等、学校全体で取り組んでいることが定着している。 • 放課後や長期休業中の学習会には、意欲を持ち、集中して取り組む児童が増えている。保護者の理解や協力も大きい。 • 家庭学習において、低中学年はきちんと宿題ができることを身につけさせ、高学年は自学習ノートも含めて取り組んでいる。児童自らが学ぼうとする姿勢を向上させていきたい。
改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> • 成果が現れている取り組みを継続し、常に検証しながら進める。 • 指導の工夫をし、授業をさらに充実させる。 • 各教科で図書を活用を意識する。また、朝読・うちどく・ブックウォーク等の取り組みを継続する。 • 家庭学習については、目的意識を持ち、児童・保護者・学校で共通理解する。
関係者評価	<ul style="list-style-type: none"> • 学習内容や児童の人数に適した指導体制が組み立てられており、成果が出ている。 • アンケートの結果と学力実態(校内テストや全国学力学習状況調査等)の結果との関連性を見ていけるとよい。

日常生活を通して、健康への関心と態度を育成する	
分析による自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・行事に取り組む意識は、今年度も高い肯定的評価である。運動会が1学期に変更したことによる大きな意識の変化は見られなかった。どの行事に対しても全力で取り組んでいる。 ・外で体を動かすことについては、児童と保護者で8割前後の肯定的評価であった。外遊びや運動の機会は、昨年度より多く見られるようになっているので、ポジティブに捉えることのできる結果だと考える。健康の増進や体力の向上に向けて、児童が外で体を動かす機会を設定していきたい。
改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・行事については、明確な目標を持ち、学校全体で計画的に取り組む。児童が主体的に取り組む、仲間と行事を創り上げる喜びを味わうことができるよう指導する。 ・行事と関連して、体を動かす機会を意図的に設ける。(マラソンカード、登校班遊び等) ・学級活動での外遊びや、休み時間の外遊びを積極的に促す。
関係者評価	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツにより集中力が育まれる面もある。東ときわ台小として力を入れる運動を決め、全校で取り組んでいくとよい。 ・子どもたちが外で遊ぶ機会が減っている中、わくわく DOYO 等の機会が設けられたことがよい。
地域に学び、保護者や地域との連携につとめる(学校経営に関して)	
分析による自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの改善が行なわれたこともあり、肯定的評価は若干伸びているが、施設・設備は十分に満足できる状態とはいえない。 ・学校の情報提供や危機管理には一定の評価をいただいているが、より充実させていく必要がある。 ・今年度も多くのボランティアさんにサポートをいただき、子どもたちの安全や成長を育んでいただいている。
改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備については、町に報告し、改善を図る。また、地域や保護者のみなさんの協力を得ながら、自助努力も行っていく。 ・危機管理マニュアルを精査し、徹底を図る。また、いざという時のために訓練を行い、諸機関との連携と準備を進めておく。 ・学校だより、学級だより、HP 等の中身を検討し、積極的に情報提供していく。
関係者評価	<ul style="list-style-type: none"> ・環境整備については、PTA 等の協力のもと、積極的に取り組んでいけるとよい。 ・学校 HP が見やすくなっていてよい。